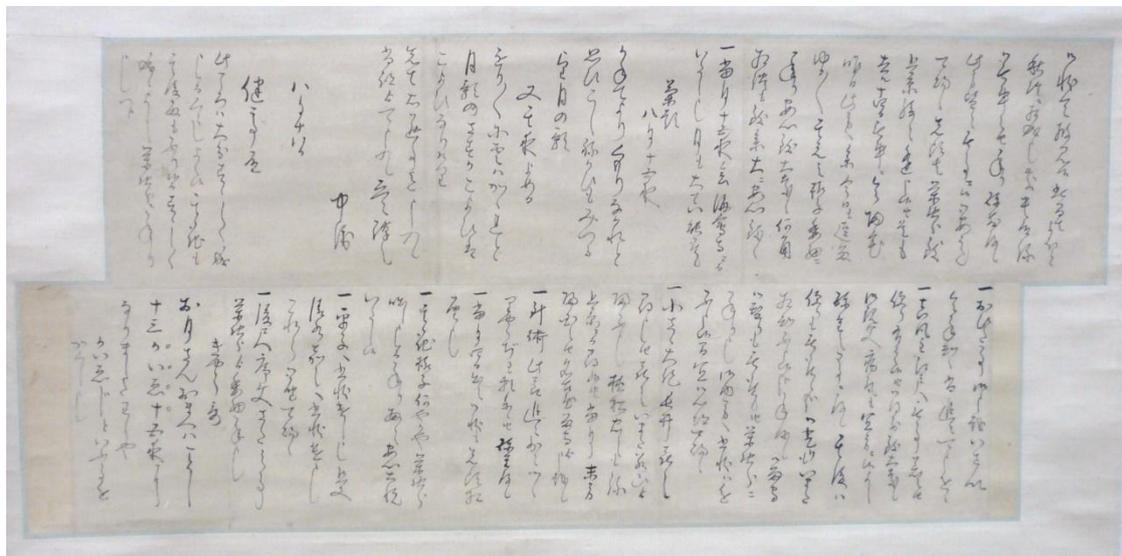


三重大学附属図書館研究開発室 事業報告

平成 22 年度



【 本居宣長自筆書状 】

平成22年度事業の概要

研究開発室では、22年度当初に10の事業の柱を立て、これに沿って活動を行うこととした。これらには、研究開発室の基本的な事業として着実に取組を蓄積して行くべきもの、機会があれば実施するものなど、事業の重みは必ずしも一様ではない。以下、これらの各項目について、今年度の取組の概要を述べる。

1. 附属図書館事業支援

平成21年度に共通教育3号館1111号教室を改装して設置されたラーニングコモンズについて、各地からの見学希望が図書館に寄せられ、研究開発室兼任教員と図書館職員で対応した。その場において各地の動向等について意見交換するとともに、学外で開催された各種研修会等に参加することにより情報収集に努めた。また、平成23年度に建設することが決定した環境情報科学館(仮称)ワーキンググループに、研究開発室兼任教員と図書館職員が参画し、学生支援スペースの構想等に意見を述べることができた。(長澤)

2. 学術情報リテラシー支援

平成22年度から全学に拡大したスタートアップセミナーや各種講習会への支援を行った。また、授業内容に対応したパスファインダーについて、次年度の試験実施に向けて情報収集を行った。(長澤・三根)

3. 学術機関リポジトリ構築支援

学術機関リポジトリ(MIUSE)構築についての情報収集及び登録促進への取組について支援を行った。また、九州大学・筑波大学・一橋大学との連携による国立情報学研究所委託事業「文献自動収集・登録ワークフローシステムの開発」への助言を行った。(三根)

4. 附属図書館所蔵資料に関する調査研究

附属図書館の所蔵する本居宣長自筆文書及び付属の極書について、調査・解題を行った。(塚本)附属図書館の所蔵する三重師範学校関係資料について調査を行い、「明治期における師範学校の配置計画に関する研究」(日本建築学会東海支部研究報告集47)として発表した。(菅原)附属図書館の所蔵する御師関係資料について調査を行い、「伊勢における御師屋敷の建築構成に関する研究」(日本建築学会東海支部研究報告集47)として発表した。(菅原)また、9月に本学で開催した『「札幌聖ミカエル教会」とアントニン・レーモンド展』にあわせて、三重高等農林学校農林博物館について調査を行い、「三重大学に博物館があった」というタイトルで研究開発室ギャラリーに展示し、ホームページにも公開した。(菅原・塚本)さらに、松阪市の材木商牧戸家の経営文書類の目録作成調査を昨年度に引き続き行い、「近代松阪の木材生産」というタイトルで研究開発室ギャラリーに展示し、ホームページにも公開した。(吉村・菅原)

5. 研究開発室展示ギャラリーの運営

上記2件のテーマで展示を行い、ホームページ上にも公開した。調査の過程で「三重農林専門学校農林博物館」のゴム印を発見し、併せて展示することができた。(菅原・塚本)

6. 歴史的・文化的資産データ集積事業の整備

三重県史編さんGとの協働による三重県関係の歴史的・文化的資産データ集積事業(H19~22)を継続して実施した。(菅原・塚本)

7. 伊勢新聞記事データベースの整備

同一題字によるわが国最古の新聞である伊勢新聞の記事主題別データベース構築のための取組であり、関心を持つ研究室や学生の協力を得て実施し、そのなかから海女関係記事をピックアップし、『伊勢新聞』に見る近代の志摩海女－明治・大正期の「海女」の諸相－と題して『三重大史学』11号(2011年3月)に記事一覧表を付して発表した。(塚本)

8. 三重大学文化フォーラムの実施

志摩市、鳥羽市、伊賀市を開催地として、三重大学文化フォーラムを開催し、延べ15講演の企画運営を行った。

主催：開催地3市、三重大学、皇學館大學社会福祉学部(伊賀)、海の博物館(鳥羽市)

協賛：中部電力

9. ?(はてな)「発見塾」三重大学シリーズの実施

津市内を開催地として、6回開催される?「発見塾」三重大学シリーズの企画運営に協力した。

主催：津市教育委員会、津市民文化祭実行委員会、

主管：津文化協会

後援：三重大学

10. 海女研究会の運営

博物館等と大学図書館との調査研究活動における連携の一環として、海女研究会を運営した。

また、上記事業から派生した新たな取組として、以下の3点を挙げる

11. 附属図書館史に関する調査研究

附属図書館の前身の一つである、三重県立大学図書館の本館(三重大学レーモンドホール、国登録有形文化財)について、設計図書類の分析と建築調査を行い、その変遷過程を明らかにした。また、レーモンド建築事務所の旧所員への聞き取り調査を行った。(菅原)

12. 地域資料等の収集

三重県立大学図書館設計図書類、戦前期絵葉書類、豊国作海士浮世絵等の資料の収集を行い、三重県立大学図書館設計図書類は9月に本学で開催した『「札幌聖ミカエル教会」とアントニン・レーモンド展』にあわせて公開を行った。(菅原)

13. 歴史街道GISのコンテンツ整備

三重県と共同で運営している歴史街道GISに「熊野観心十界曼荼羅」、「たわら屋講看板」等のコンテンツを追加した。(菅原)

■2010年度 三重大学文化フォーラム

三重大学・皇學館・伊賀市 文化フォーラム 2010

主催:三重大学・皇學館大学社会福祉学部・伊賀市教育委員会 協賛:中部電力 後援:三重ティーエルオー・上野商工会議所

第1回	2010.6.7	伊賀上野交流 研修センター	皇學館大学文学部・講師	多田 實道	近世伊賀における寺院の復興
第2回	2010.7.11	伊賀上野交流 研修センター	人文学部・教授	山中 章	倭(やまと)を支えた伊賀の人々 ～伊賀国成立の背景を探る～
第3回	2010.7.18	伊賀上野交流 研修センター	皇學館大學社会福祉学部・ 教授	櫻井 治男	伊賀地域の民俗行事
第4回	2010.8.1	伊賀上野交流 研修センター	皇學館大學教育学部・准教 授	片山 靖富	なぜ、あなたは運動をしても ダイエットに成功しないのか？
第5回	2010.8.8	伊賀上野交流 研修センター	医学部・准教授	杉浦 絹子	若い女性のやせと次世代の健康
第6回	2010.8.22	伊賀上野交流 研修センター	教育学部・准教授	磯辺 由香	食はこどもの心と体をつくる －家庭での食育－

三重大学・鳥羽市・海の博物館 文化フォーラム 2010

主催:三重大学・鳥羽市・海の博物館 協賛:中部電力㈱・鳥羽商工会議所 後援:志摩市・三重ティーエルオー・鳥羽磯部漁業協同組合ほか

第1回	2010.9.4	海の博物館 1階ホール	生物資源学研究科・教授	前川 行幸	海女さんの海の森
			生物資源学研究科・教授	原田 泰志	海女さんの資源管理
			生物資源学研究科・教授	常 清秀	海女さんによる販売への取り組み

三重大学・皇學館・志摩市 文化フォーラム 2010

主催:三重大学・志摩市 協賛:中部電力㈱ 後援:志摩市商工会・三重ティーエルオー

第1回	2010.11.17	志摩市阿児アリ ーナ・ベイホール	生物資源学研究科・教授 教育学部・教授	前川 行幸 萩原 彰	里海とはどんな海？ ～豊かな自然環境から学ぶこと～
第2回	2010.12.1	志摩市阿児アリ ーナ・ベイホール	生物資源学研究科・教授 生物資源学研究科・教授	高山 進 吉岡 基	私たちにできる里海づくり ～暮らしと環境との調和を求めて～
第3回	2010.12.15	志摩市阿児アリ ーナ・ベイホール	人文学部・教授 生物資源学研究科・教授	朴 恵淑 吉松 隆夫	里海が私たちにもたらすもの ～環境調和と生物多様性～

■2010 年度 「発見塾」三重大学シリーズ

主催：津市・津市民文化祭実行委員会 主管：津文化協会 後援：三重大学社会連携センター・三重大学附属図書館研究開発室・三重ふるさと新聞社

第1回	2010.5.22	津図書館 2階視聴覚室	教育学部保健体育科・教授	富樫 健二	子どもの健康と運動
第2回	2010.7.24	津図書館 2階視聴覚室	生物資源学研究科・教授	前田 広人	最近の海の環境問題と私たちの生活
第3回	2010.9.25	久居中央公民館 3F 大会議室	教育学部・准教授	磯部 由香	からだにやさしい発酵食品
第4回	2010.11.27	津センターパレス まん中交流館研修室	工学研究科・准教授	寺島 貴根	音環境とサウンドスケープ
第5回	2011.1.22	津市白山総合文化 センター多目的室	大学院医学系研究科 脊椎外科・医用工学・教授	笠井 裕一	目からウロコ！ 背骨の病気の大発見
第6回	2011.3.19	津リージョンプラ ザ 2階健康教室	人文学部・准教授	吉丸 雄哉	江戸時代の伊勢参り ー津を通った弥次さん喜多さんー

■2010 年度 海女研究会

2011年2月7日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 大藪晴奈（三重大学生物資源学部常研究室）

「海女漁業における新規参入者獲得条件の抽出」

川口祐二（エッセイスト、三重大学客員教授）



2010年12月6日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 門口実代（三重県生活・文化部新博物館整備推進室）

「ライフヒストリーからみるアマの一日、一年、一生
～南房総市白浜町白浜の調査から～」

菅原洋一（三重大学附属図書館研究開発室）

「済州特別自治道の海女文化保存と伝承に関する条例」

2010年10月4日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 寺田喜朗(鈴鹿短期大学)

「屋久島の世界遺産登録の全市とその影響」

2010年8月30日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 原田泰志(三重大学大学院生物資源学研究科)

「海女さんの資源管理」

川口祐二(エッセイスト、三重大学客員教授)

「京都府丹後半島袖志での調査」

「宮城県石巻市長渡浜長渡の海女調査」

2010年6月21日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 菅原洋一(三重大学附属図書館研究開発室)

「近年の韓国済州島の海女調査報告書について」

塚本明(三重大学人文学部)

「伊勢新聞に見る明治・大正期の海女 附・観光海女の歴史(序)」

2010年4月26日(月) 15:30～ 例会

場所 県立博物館 レクチャールーム

内容 常清秀(三重大学大学院生物資源学研究科)

「海女をどう残すのか？」

石原義剛(海の博物館)

「全国“海女”存在調査の事前調査結果(途中)」

「熊野(紀伊長島～磯崎)の済州海女」

■【研究開発室ギャラリー】

● 三重大学に博物館があった - 農林博物館の誕生と消滅 - (菅原洋一)

● 近代松阪の木材生産(吉村利男)



以下、室員の業績(研究開発室に関連するもの)及び情報図書館チーム職員参加分を列挙

■【地域貢献】

- 津市子ども読書推進協議会(津市子ども読書推進実行委員会)(副会長:三根慎二、委員:湖内夏夫)
- 津市教育委員会学校図書館いきいき推進事業図書館運営研修講座
峯澄子「インターネットで情報検索」平成 22 年 7 月 23 日(於:総合情報処理センター)
三根慎二「電子書籍と電子絵本の現在」平成 22 年 10 月 1 日(於:附属図書館会議室)
- 三重県図書館協会ネットワーク部会(部会長:三根慎二、委員:河谷宗徳)

■【著書(共著)】

- 吉村利男・川口祐二『故国遙かなり』里き・源吉の手紙を読む会編、ドメス出版、2011

■【論文発表】

- 塚本明「『伊勢新聞』に見る近代の志摩海女—明治・大正期の「海女」の諸相—」(『三重大史学』11 号 2011.3)

■【口頭発表(学外)】

- 日比野早穂・菅原洋一「明治期における師範学校の配置計画に関する研究」(日本建築学会東海支部報告集 47)
- 川畑華子・菅原洋一「伊勢における御師屋敷の建築構成に関する研究」(日本建築学会東海支部報告集 47)
- 三根慎二。「オープンアクセス実現手段の新機軸:すべては PubMed のもとに」「オープンアクセス、サイバースカラシップ下での学術コミュニケーションの総合的研究」研究成果報告会. 慶應義塾大学. 2011.2.5.
- 三根慎二。「日本の学術情報流通:オープンアクセスと機関リポジトリ」DRF 技術ワークショップ in 旭川. 旭川医科大学. 2011.2.4.
- 小山憲司, 長澤多代「図書館員と研究者の協働による情報リテラシー教育プログラムの改善:アクション・リサーチを活用した三重大学附属図書館における取り組み」第 58 回日本図書館情報学会研究大会, 藤女子大学, 2010.10.10.
- 長澤多代「ウエスタン・オンタリオ大学における教員と図書館員の連携に関するケース・スタディ:教育支援センターに図書館員を配属した背景を中心に」第 58 回日本図書館情報学会研究大会, 藤女子大学, 2010.10.10.
- 長澤多代, 中井俊樹, 小山憲司, 柴田佳寿江, 峯澄子「パスファインダーの概念を取り込んだ FD ガイドの開発」〔自由研究発表〕大学教育学会第 32 回大会, 愛媛大学, 2010.6.5.
- NAGASAWA Tayo "Building Collaboration between Faculty Members and Librarians: Strategic Approaches"〔Lecture〕Research Colloquium, the School of Library and Information Science, the University of Alberta, Edmonton (Alberta, Canada), 2010.10.20.

- 長澤多代「教員との連携による大学図書館のサービスづくり」〔基調講演〕第51回中国四国地区大学図書館協議会研究集会, 中国四国地区大学図書館協議会, 広島大学, 2010.10.14.
- 長澤多代「効果的な情報リテラシー教育を目指して:教育活動における教員と図書館員の連携」〔講演〕大図研京都ワンディセミナー, 大学図書館問題研究会京都支部, 京大会館, 2010.6.12.
- 長澤多代「大学図書館の学習・教育支援機能とFD」〔講演〕皇學館大学FD, 皇學館大学, 2010.6.10.
- 湖内夏夫、峯澄子「三重大学における情報リテラシー教育」〔講演〕平成22年度公立図書館等職員専門研修(大学・専門図書館研修), 静岡県立中央図書館・静岡県図書館協会, 東海大学海洋学部, 2010.7.8

■【ポスターセッション(学外)】

- Kurata, K., Matsubayashi, M., Mine, S., Yokoi, K. and Morioka, T. (2010), Enhancing open access in the biomedical field. Proceedings of the American Society for Information Science and Technology, 47: 1-2. doi: 10.1002/meet.14504701383.

■【口頭発表(学内)】

- 長澤多代「課題探求のプロセスと図書館の利用」2009年度三重大学全学FD「TA(ティーチング・アシスタント)のための研修会」2010.9.24.

■【三重大学海外研修報告会(図書館職員向け)】

- 河谷宗徳「タスマニア大学図書館“The library is a living centre of learning”」2010.10.7

■【HEDC ニュースレター】

No.12 「ラーニング・コモンズ」(柴山依子, 原郭二, 加藤彰一, 湖内夏夫, 長澤多代, 小山憲司)

No.16 「2010年度三重大学全学FD&SDの報告 新任教職員オリエンテーション」(内田友和, 長澤多代)

平成22年度 三重大学附属図書館研究開発室組織

	氏名	専門領域	所属・職名
室長 (図書館長)	松岡 守	電気工学	理事 副学長(情報・国際交流担当)
専任室員	菅原洋一	日本建築史	附属図書館研究開発室・教授
兼務室員	塚本 明	日本史学	人文学部・教授
兼務室員	長澤多代	図書館情報学	高等教育創造開発センター・准教授
兼務室員	三根慎二	図書館情報学	人文学部・講師
客員教授	石原義剛	博物館学	海の博物館館長
客員教授	川口祐二	漁村生活史	エッセイスト
客員教授	吉村利男	日本史学・考古学	三重県史編さんグループ・嘱託
協力大学教員	石阪督規	三重大学文化フォーラム企画運営	人文学部・准教授
協力大学教員	井口 靖	三重大学文化フォーラム企画運営	人文学部・教授
協力大学教員	岩崎恭彦	三重大学文化フォーラム企画運営	人文学部・准教授
協力大学教員	森 正人	三重大学文化フォーラム企画運営	人文学部・准教授
事務	武田安代	—	学術情報部情報図書館チーム

